



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

東

上場会社名 アルビス株式会社

上場取引所

コード番号 7475

URL <https://www.albis.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 藤井 秀亮 (TEL) 0766-56-7200
管理本部長

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	24,773	△0.9	396	16.0	466	△3.5	292	14.3
2026年3月期第1四半期	25,003	3.9	341	△28.4	483	△23.2	256	△37.7

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 406百万円(51.8%) 2026年3月期第1四半期 267百万円(△39.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	35.02	—
2026年3月期第1四半期	30.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	56,909	33,098	58.2	3,961.32
2026年3月期	58,548	32,984	56.3	3,947.71

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 33,098百万円 2026年3月期 32,984百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2027年3月期					
2027年3月期(予想)		35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,622	2.8	952	32.6	1,049	6.0	703	21.9	84.17
通期	103,999	3.0	2,302	6.8	2,508	3.8	1,348	1.7	161.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ― 社 (社名) 、除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	9,255,926株	2026年3月期	9,255,926株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	900,617株	2026年3月期	900,617株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	8,355,309株	2026年3月期1Q	8,492,110株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(表示方法の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の拡大を背景に緩やかな回復基調にある一方、中東情勢の緊迫化に伴う原材料価格の高騰、円安による物価上昇、さらにエネルギーコストの上昇等、先行き不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましても、継続する物価高の影響により消費者の節約志向はますます強まっていくことが想定されます。これに加え、業種業態を超えた競争の激化や人件費・物流費をはじめ各種コストの上昇が見込まれるなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「食を通じて地域の皆様の健康で豊かな生活に貢献します」の企業理念のもと、3年目となる「第四次中期経営計画」では、「私のお店と言ってもらえるアルビスファンを増やす」を経営方針とし、「お客さまを笑顔にする商品の提供」「お客さまが楽しく快適に買い物できる店づくり」「働きがい、やりがいを感じられる職場環境の実現」「持続的な成長に向けた業務基盤の強化」「事業を通じた地域社会の課題解決」の5つの重点施策に以下のとおり取り組んでおります。

「お客さまを笑顔にする商品の提供」については、お客さまに満足していただける商品の開発に注力するほか、お客さまニーズに応えるため、健康志向商品や簡便即食商品を拡充しております。また、節約志向に応えるため、PB商品の拡大や、300品目をお値打ち価格で提供する食卓応援企画などを継続して実施しております。

「お客さまが楽しく快適に買い物できる店づくり」については、サービスレベルの更なる向上に取り組むとともに、店舗改装に最新MDを導入するなど、積極的な投資を行っております。6月に「北方店」（岐阜県北方町）、「北区金田店」（愛知県名古屋市中北区）、「太閤山店」（富山県射水市）を改装いたしました。秋には、「福岡駅前店」（旧タピス店、富山県高岡市）の建替えオープンを予定しております。

「働きがい、やりがいを感じられる職場環境の実現」については、新入社員から経営幹部までの各階層に応じた技術・知識を習得できる研修を実施するとともに、女性管理職育成に向けた教育プログラムを実施しております。

「持続的な成長に向けた業務基盤の強化」については、店舗オペレーションの標準化と効率化を推進するとともに、海産プロセスセンターの稼働により、更なる生産性向上に取り組んでおります。

「事業を通じた地域社会の課題解決」については、地域行政との連携を通じて様々な課題解決に取り組んでおり、食品ロス削減への取り組みとしては、リレーフードドライブ活動を継続して取り組んでおります。また、熱中症特別警戒アラートの発表時には店舗のイートインスペースをクーリングシェルターとして開放する取り組みを18市町と実施するとともに、お客さまに熱中症の正しい知識に基づく対策をお伝えすることができるよう、社員に対し「熱中症対策アンバサダー」の修得を推進しており、1,021名が認定を受けております。お客さまに安心して買い物いただける買い物支援と地域の見守りに取り組む「移動スーパー」は、2026年6月末現在24台で運行しており、7月からは新たに石川県加賀市をエリアとする移動スーパーを1台運行しております。

また、当社では環境保全への活動を「albis Green Action」と総称し取り組んでおります。店舗においては、トレイ・ペットボトル回収などのリサイクル活動に加え、太陽光パネルを設置して再生可能エネルギーの利用を拡大するとともに、食品廃棄量の削減に向け、循環型の生ごみ処理機の導入拡大に取り組むなど、サステナブルな生活提案と環境負荷低減を推進しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間（2026年4月～6月）は、前期末で閉店した店舗や建替え中により一時閉店している店舗数減少の影響等により、営業収益24,773百万円（前年同期比0.9%減）となりました。利益面では、商品値上げや急激な相場変動等の影響により売上総利益率は前年同期を下回りました（0.4%減）。一方、賃金増などの人的資本への積極的な投資や店舗投資に伴う減価償却費の増加等はあったものの、店舗生産性の向上や各種コストの見直しなどに取り組んだことにより、営業利益396百万円（前年同期比16.0%増）、経常利益466百万円（前年同期比3.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益292百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,639百万円減少し、56,909百万円となりました。

この主な要因は現金及び預金の減少額1,469百万円、売掛金の減少額63百万円、商品の増加額92百万円、建物及び構築物（純額）の減少額334百万円、有形固定資産その他（純額）の減少額93百万円、投資有価証券の増加額167百万円等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,753百万円減少し、23,811百万円となりました。

この主な要因は買掛金の減少額128百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少額114百万円、未払法人税等の減少額278百万円、賞与引当金の減少額341百万円、その他の流動負債の減少額201百万円、長期借入金の減少額712百万円等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ113百万円増加し、33,098百万円となりました。

この主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加額113百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2026年4月30日に「2026年3月期決算短信」で公表しました内容に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,519	7,049
売掛金	2,567	2,503
商品	2,763	2,856
原材料及び貯蔵品	308	321
その他	2,451	2,539
貸倒引当金	△137	△141
流動資産合計	16,472	15,129
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,227	19,892
土地	12,181	12,181
その他（純額）	3,342	3,249
有形固定資産合計	35,751	35,324
無形固定資産		
その他	946	954
無形固定資産合計	946	954
投資その他の資産		
投資有価証券	1,810	1,978
敷金及び保証金	3,329	3,319
その他	393	358
貸倒引当金	△155	△154
投資その他の資産合計	5,377	5,501
固定資産合計	42,076	41,779
資産合計	58,548	56,909
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,689	5,561
1年内返済予定の長期借入金	3,248	3,133
未払法人税等	375	97
賞与引当金	641	300
その他	4,517	4,315
流動負債合計	14,472	13,407
固定負債		
長期借入金	8,390	7,678
受入敷金保証金	724	709
資産除去債務	895	897
その他	1,080	1,117
固定負債合計	11,091	10,403
負債合計	25,564	23,811

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,908	4,908
資本剰余金	5,634	5,634
利益剰余金	23,946	23,946
自己株式	△2,333	△2,333
株主資本合計	32,155	32,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	828	941
その他の包括利益累計額合計	828	941
純資産合計	32,984	33,098
負債純資産合計	58,548	56,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	24,742	24,480
売上原価	17,281	17,202
売上総利益	7,460	7,278
不動産賃貸収入	261	293
営業総利益	7,722	7,571
販売費及び一般管理費	7,380	7,174
営業利益	341	396
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	10	23
受取手数料	8	11
受取販売奨励金	66	—
受取家賃	13	16
協賛金収入	11	9
出向者負担金受入額	13	15
その他	48	38
営業外収益合計	178	118
営業外費用		
支払利息	21	33
出向者給与	15	14
営業外費用合計	36	48
経常利益	483	466
特別損失		
固定資産除却損	79	0
特別損失合計	79	0
税金等調整前四半期純利益	403	466
法人税、住民税及び事業税	64	54
法人税等調整額	83	119
法人税等合計	147	174
四半期純利益	256	292
親会社株主に帰属する四半期純利益	256	292

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	256	292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	113
その他の包括利益合計	11	113
四半期包括利益	267	406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	267	406
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。

(会計方針の変更)

該当する事項はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第1四半期連結累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取家賃」、「協賛金収入」、「出向者負担金受入額」は、金額的重要性が増したため、前第3四半期連結累計期間より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた86百万円は、「受取家賃」13百万円、「協賛金収入」11百万円、「出向者負担金受入額」13百万円、「その他」48百万円として組替えております。

(会計上の見積りの変更)

該当する事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	628百万円	638百万円